

# ガバナー月信

2017  
August

8

DISTRICT 2560  
NIIGATA



Vol. 2



ロータリー：  
変化をもたらす



ロータリー 第2560地区 2017-2018年度

## ▼ Contents

ガバナーメッセージ	1
会員満足度集計表	2
会員増強・拡大月間によせて	6
地区事務所固定化について	7
インターアクト年次大会報告	10
地球環境保全のための植樹事業	13
新入会員・訃報／8月の予定	14
会員数及び出席報告	15
コーディネーターニュース	16
ハイライトよねやま	17
文庫通信	19

### 新保ガバナー事務局

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-mail k.shinbo@rid2560niigata.jp



「会員増強月間によせて」

2017-2018 年度 ガバナー  
新保清久（新潟万代 RC）

今年も暑い夏になっております。また日本各地で、地震や風水害等々自然災害が続いており、不幸にも被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、8月は世界中のロータリアンがあらためて会員増強の意義を考え、取り組む月間です。

RIは、会員基盤の多様化を促進するために女性会員と若い会員の入会を推奨しています。

当地区の会員数は、ここ数年間、2100名前後で推移していますが、今年度は、100名の純増で、2200名の達成を計画しております。

目標の達成には、クラブの活性化と会員の満足度を上げることが必要です。

今年の5月に約60%の会員からご協力を頂き、会員満足度調査を実施いたしました。

結果は、会員満足度で100%のクラブがある一方50%台のクラブもありました。

アンケート結果は、8月号に掲載されておりますので、クラブ運営を改善するための貴重な資料として役立てていただきたいと思います。

元気なクラブは、活発に奉仕活動がなされており、入会希望者が集まりやすいといわれます。

当地区では、「クラブと地区の変革をめざそう」を今年度の目標にして、地区とクラブの活性化と強化を目指しております。

会員増強委員会を独立させて山本パストガバナーに大委員長をお願いするとともに、戦略計画推進委員会の新設と広報・公共イメージ向上委員会を強化して、クラブの基盤強化に努めております。

さらに広報・公共イメージ向上委員会で、クラブが行なっている地元に密着した奉仕活動を広報できるようにしてまいります。

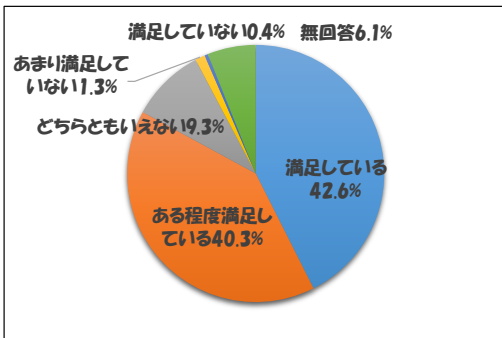
最後になりますが、各クラブの増強目標の達成を祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

(貴クラブ名) RID2560 全56 **ロータリークラブ 会員満足度アンケート 集計表**

アンケート実施日 2017 年 5月 27日 アンケート集計者名 クラブ戦略計画推進委員会

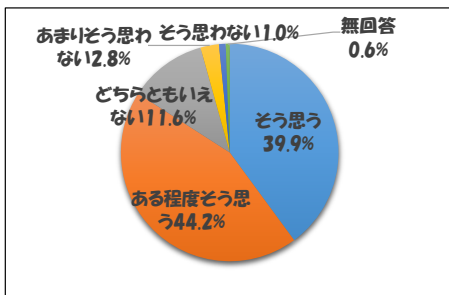
アンケート実施時点のクラブ会員数 2064人 アンケート回答者数 1200人 アンケート回答率 58.1%  
(正会員と名誉会員)

1. 本クラブの会員であることにどのくらい満足していますか。

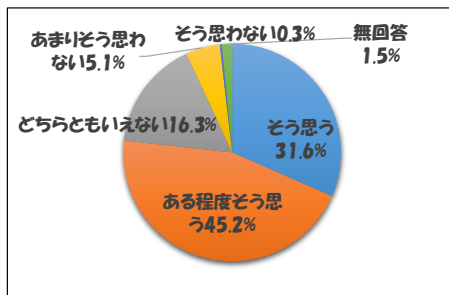


2. 本クラブの会員、例会、雰囲気について、各項目につき該当するものに印を付けてください。

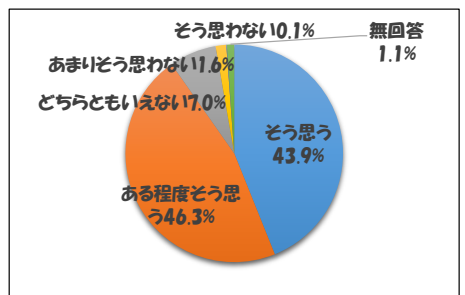
例会は時間を費やす価値があると思う



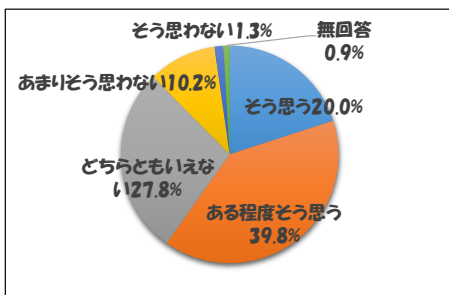
クラブは、新会員がすぐに打ち解けられるよう配慮している



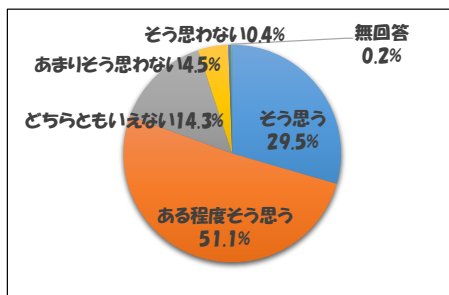
会員は互いへの思いやりを持っている



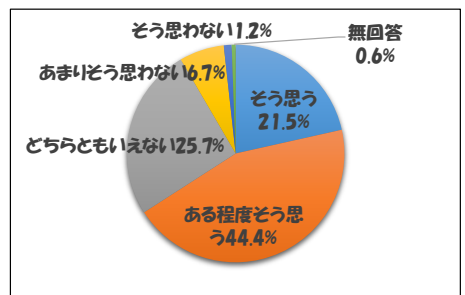
クラブは、地元地域の職業/人口構成を反映している



クラブは、各会員の関心、スキル、スケジュールに応じて出来るだけ参加するよう呼び掛けている

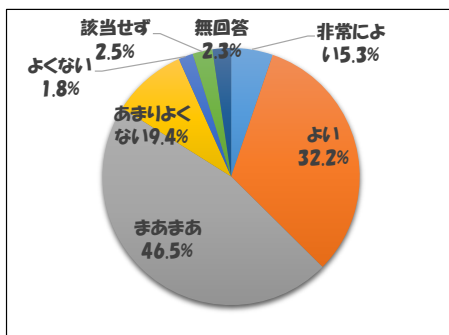


寄付・募金活動の量は適切である

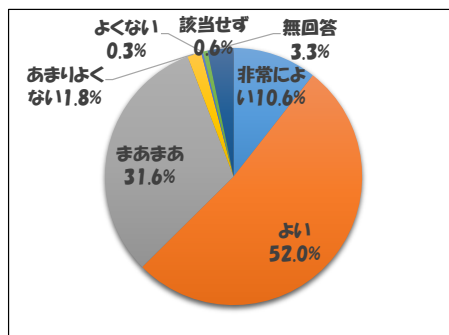


3. 例会について、以下の各点を評価してください。

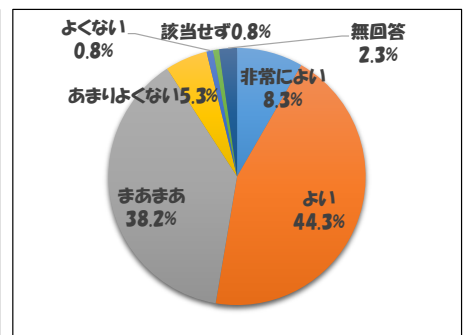
国際ロータリー最新情報の紹介

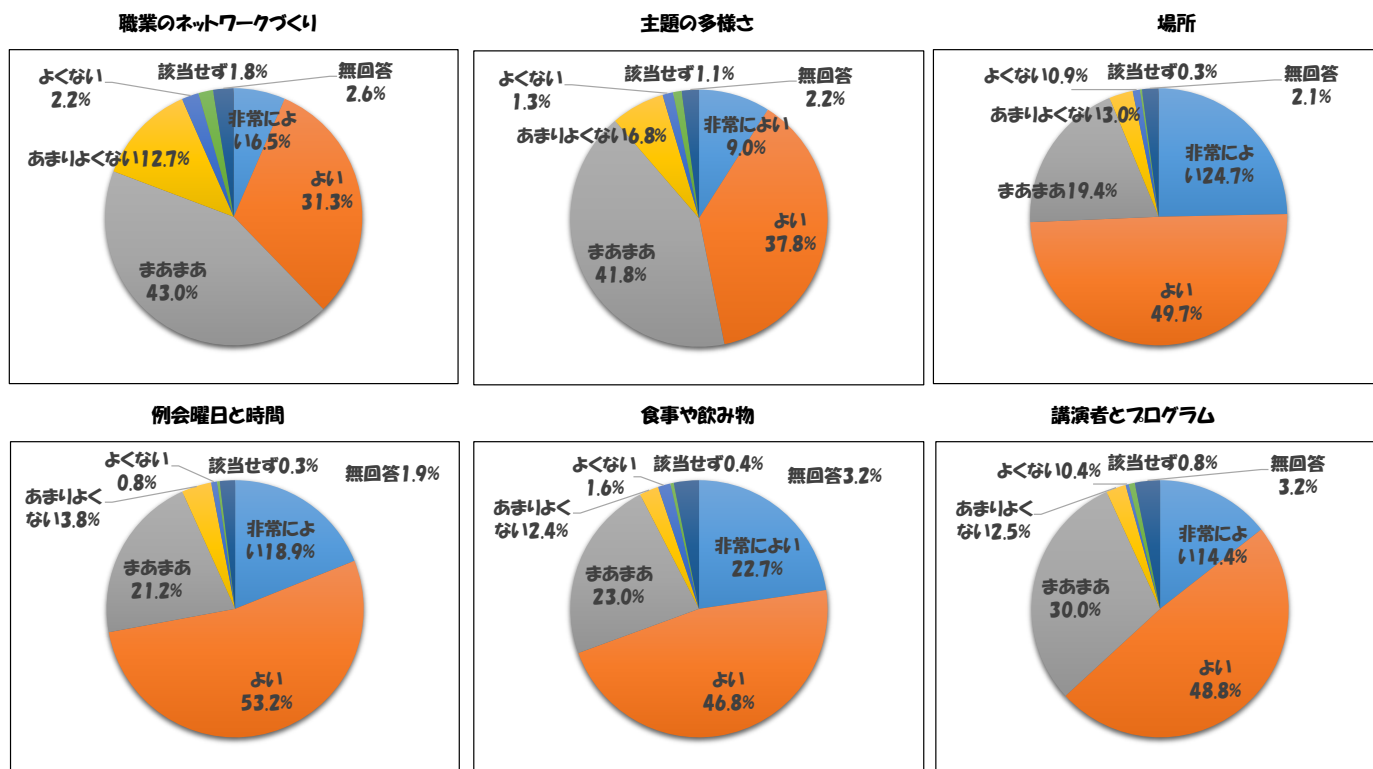


長さ

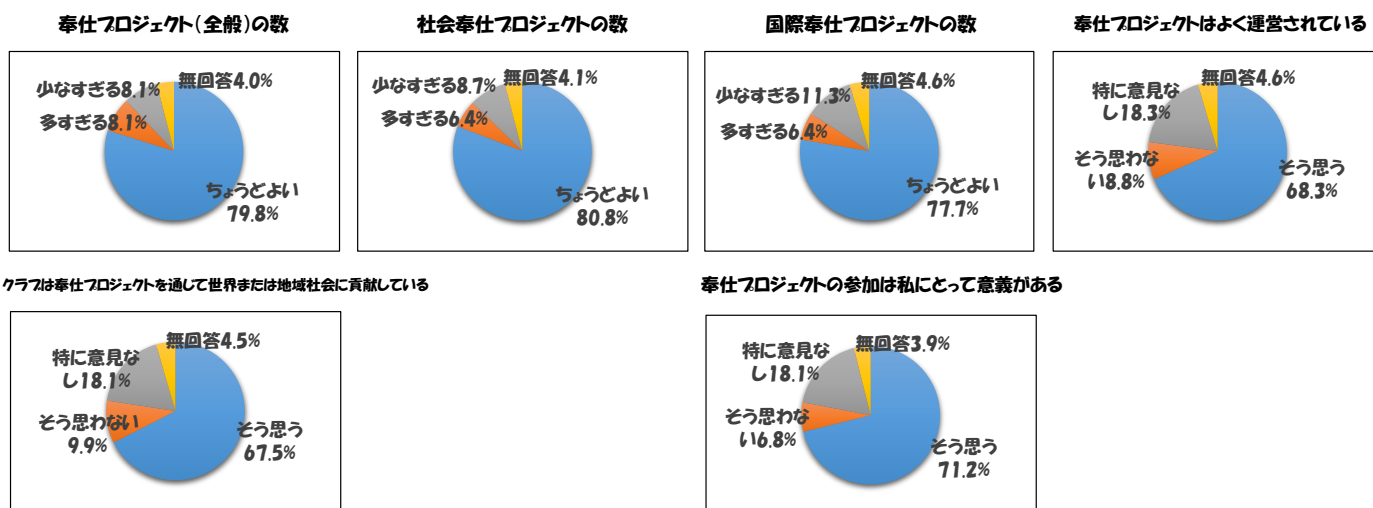


交流に充てる時間

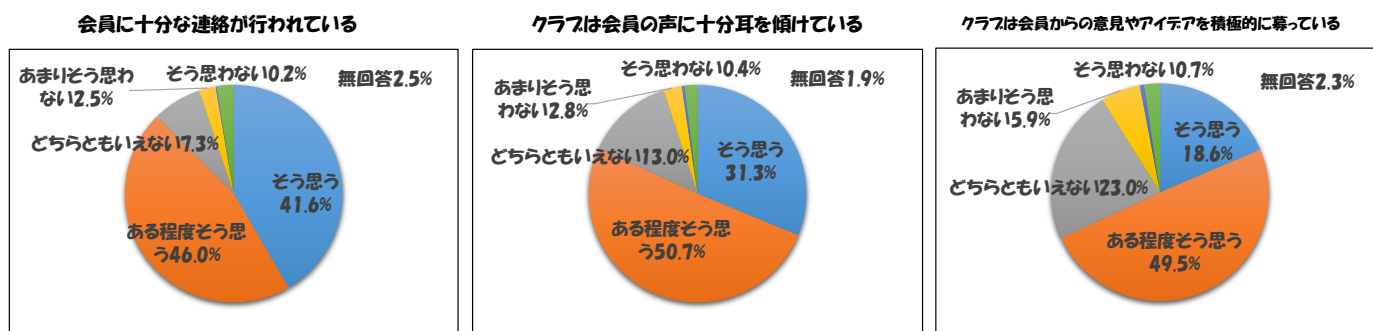




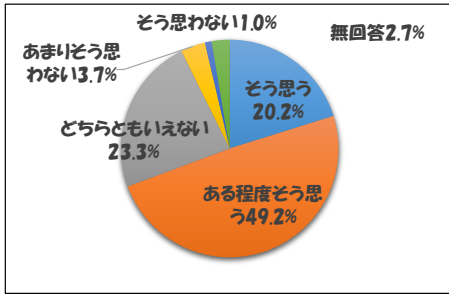
4. 本クラブの奉仕プロジェクトについて、ご意見を聞かせてください。



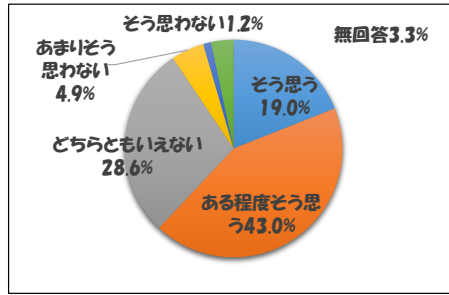
5. 本クラブのコミュニケーションと対応について、以下の各項目で該当するものに印を付けてください。



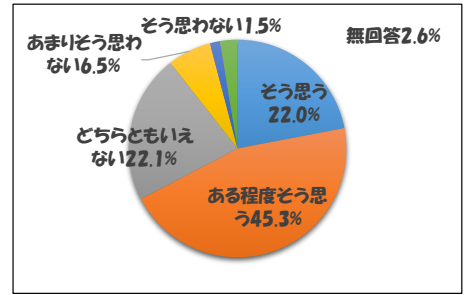
クラブは会員の意見やアイデアに基づいて運営されている



本クラブの変化のスピードは適切だと思う

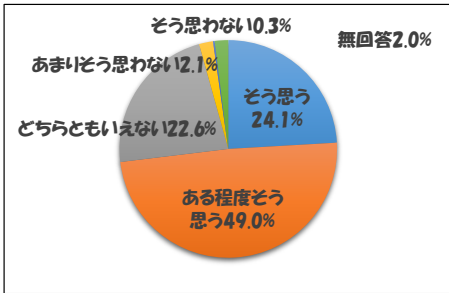


クラブは会員のニーズに合わせて手続きや規定を更新している

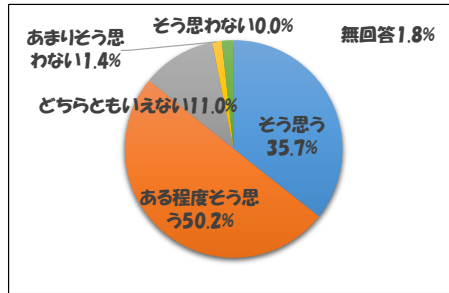


6. 会員であることの価値について、以下の各項目で該当するものに印を付けてください。

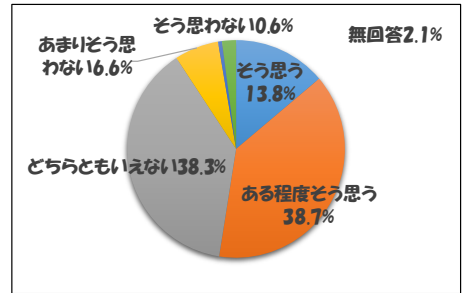
私はクラブで歓迎されていると感じる



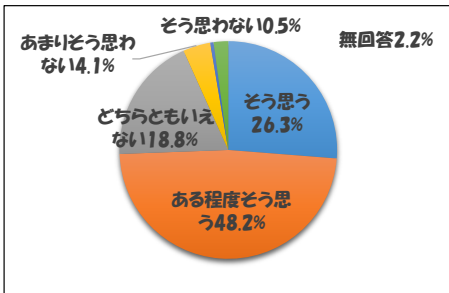
クラブを通じて貴重な人脈づくりができる



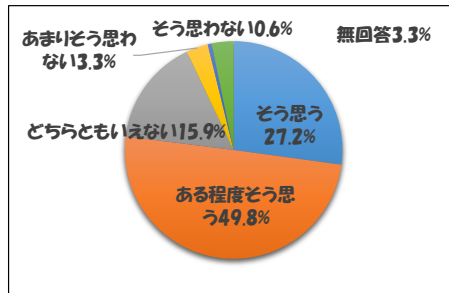
クラブでは私の才能・スキルを活かす機会がある



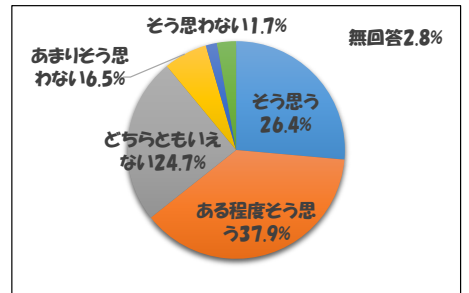
会員としての経験は、会費を支払う価値がある



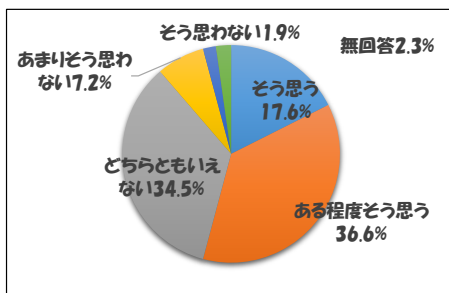
ロータリー会員としての経験は、時間を費やす価値がある



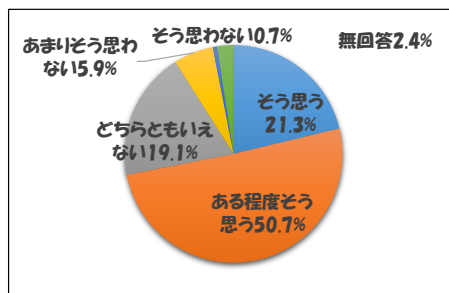
私がロータリー会員であることの価値を家族も認めている



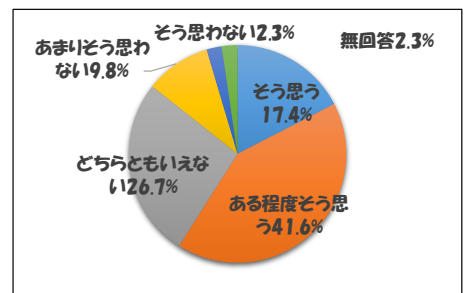
私がロータリー会員であることの価値を友人も認めている



ロータリーを通じて地域のために貢献できる

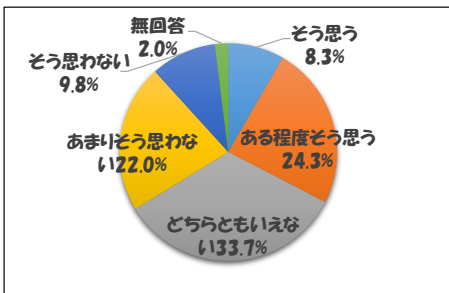


ロータリーを通じて世界のために貢献できる

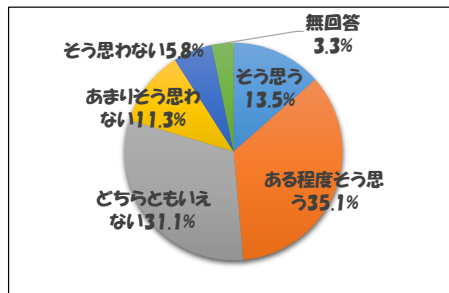


7. クラブへの参加について、以下の項目で該当するものに印を付けてください。

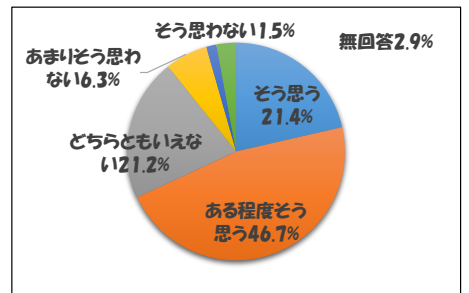
私は、クラブの行事に家族、友人、同僚をよく誘う



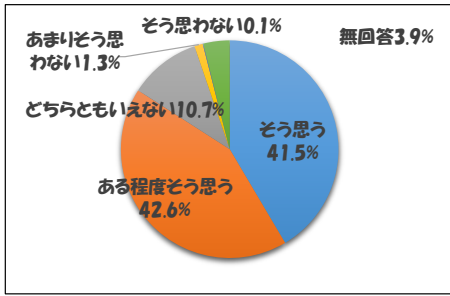
私は、資格ある候補者に入会を誘っている



私は、クラブの活動/プログラムに頻繁に参加している

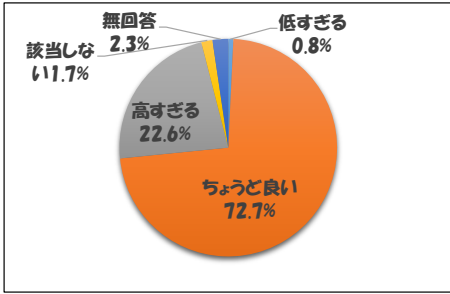


私は、当クラブを誇りに思う

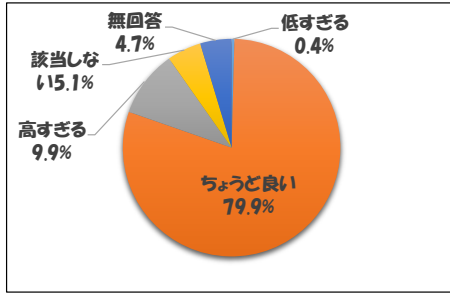


8. 会員が払う費用について、以下の各項目に該当するものに印を付けてください。

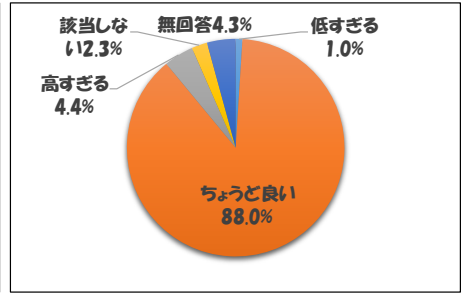
クラブ会費



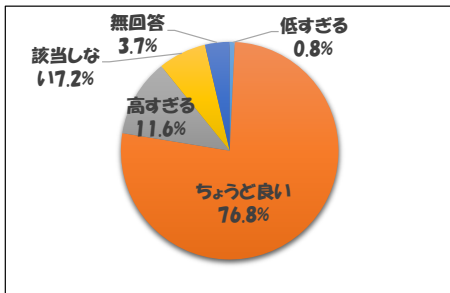
例会の会費



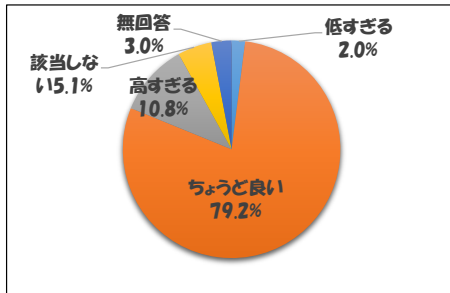
ニコニコ/ごめんなさいボックス



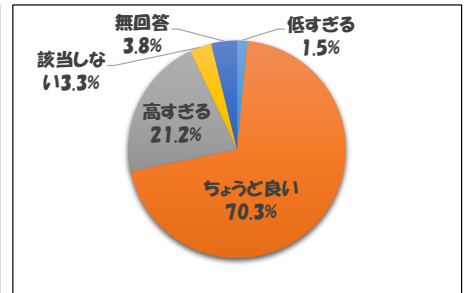
クラブ賦課金/特別会費



奉仕活動に求められる募金



ロータリー財団のために求められる寄付





## 「会員増強・拡大月間によせて」

会員増強委員会委員長（パストガバナー）  
山本 和則（新潟南 RC）

いよいよ新保年度が始動致します。様々な月間が有りますが、この「会員増強・拡大月間」が最初になります。スタートダッシュが大事である証だと感じております。

今、日本のロータリーは会員数の面でも重大な局面に立たされています。世界では200以上の国と地域に122万余人のロータリアンが、約3万5千の何れかのクラブに属しています。そして凡そ540の地区に区分され、各地区にはR Iの役員として地区ガバナーがいらっしゃいます。

更に、それを34のゾーンに集約して、2ゾーンに1人の割合でR I理事が17人選出されています。日本には、第1、第2、第3の3つのゾーンが割り振られており、私たちの2560地区は第1ゾーンに所属しています。

R Iでは、1ゾーン当たりの会員数の目安を3万5千人としています。3つのゾーンを維持するには、10万5千人の会員数となります。

日本の直近の会員数は8万9千余人で有り、このままでは2019年に開催される次の規定審議会で、「3ゾーンから2.5ゾーン」に減らされる可能性が大きくなってきました。

我が国のロータリアンの声を出来るだけ多くR Iに届けるために、この3つのゾーンはどうしても維持する必要があります。

「着眼大局、着手小局」の考えを持って、各クラブの会長・幹事・会員増強委員長を始め会員の皆様も、自クラブの活性化を図る最大の武器として、又会員基盤の拡大の上でも、大変重要な事ですので、是非ともご協力を賜りたくお願い申し上げます。

新保ガバナーは今年度の地区運営方針の一番に、クラブ基盤の強化を掲げられ、会員増強の目標を、前年度末比100名の純増とされました。

比率にしますと、約5パーセントの純増というこの目標は、ここ数年の増強実績を鑑みた時に、非常に難易度の高いハードルであると認識しておりますが、誠に頼もしいことに、上越、中越、下越から強力で素晴らしい委員を輩出して戴きました。

今年度最初の事業と致しまして、去る7月29日(土)、ホテルオークラ新潟に於きまして「会員増強セミナー」を開催致しました。講師は「第1、第2、第3ゾーン地域別会員増強計画プロジェクトリーダー」の水野功(東京飛火野RC)氏をお招きしました。私の同期ガバナーで、2015-16年度ガバナー会議長です。R Iやゾーンの事、地区やクラブの現況など示唆に富んだ講話をお聞き致しました。「出席して良かった」と、言ってもらえるセミナーになったのではと思っております。

広報・公共イメージ向上委員会など他の委員会とも連携を図り、この目標を達成すべく当委員会は全力を挙げて取り組んで参ります。8月は基より、一年間ご協力を宜しくお願い申し上げます。



## 「地区事務所固定化について」・・・その経緯と進捗状況

地区幹事

丹治芳子(新潟万代 RC)

平成29年6月26日付で当時の田中政春ガバナーより地区内のクラブ会長宛に「地区事務所固定化について」という文書が発信されました。その中で、かねてより懸案であった地区事務所の所在地を「新潟市」に決定した旨が記載されておりました。その決定を受けまして、新保年度では、今後地区運営改善検討委員会と協議しながら地区事務所固定化の実務作業を進めております。7月から始まりましたガバナー公式訪問でもできる限り説明をさせて頂いておりますが、このガバナー月信を通じまして会員の皆様方にその経緯と内容・スケジュール等につきまして、ご説明させていただきます。

### ① 経緯

平成28年11月5日 地区大会での会長会で「地区事務所固定化」が決議

平成29年1月28日 第3回地区改善検討委員会で作業部会設置が決議

平成29年2月25日 田中ガバナーより作業部会委員に委嘱状と要請書

{作業部会委員}

鈴木重壺(長岡)、小林敏夫(長岡西)、丹治芳子(新潟万代)

関川博(三条)、伊藤秀夫(新潟万代)、佐野勝栄(三条)

以降、6回のWGの会合、2回の報告会(5月11日、29日)、6回の聞き取り調査(大城・小村・羽賀・有田氏)を行いました。

### ② 要請書(ミッション)の内容

田中ガバナーからの要請は下記の5点でした。

- 1、地区事務所を設置する場所として最もふさわしい都市及び施設がいずれかであるかを判定するためのどのような要因を考慮すべきか。
- 2、現時点で候補となるべき都市(できれば施設)を複数挙げて上記要因に対するそれぞれの評価結果を適示されたい。
- 3、地区事務所の固定化(解説)後に、地区事務所とガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所がそれぞれの職務をどう分担すべきか。
- 4、地区事務所の事務員の果たすべき職務の内容に照らし、採用すべき事務員の員数、必要とされる資質及び能力、締結すべき労働契約の概要はどのようなものか。なお、現在行われている外注契約の内容を明らかにされたい。
- 5、その他関連事項



### ③ 調査作業

上記要請に対して、地区改善検討委員会の作業部会は3か月間にわたり精力的に調査（聞き取り調査を含む）・資料集めを行いました。その際に作業部会が心掛けましたことは予断偏見を持たず、聞き取り調査を含めて多角的に資料を集め、客観的な立場からどこが地区事務所に最もふさわしいかを判断しようという事でした。特に候補地に関しましては単純に物理的距離や最小公倍数的な発想にとどまらず多方面から検討を加え、現在の2560地区の実情やタイミングを考えて結論を導き出すように心掛けました。

具体的判断の基準参考として下記の要因を徹底的に分析いたしました。

- ・候補地へのアクセス（代表的都市として結果新潟・長岡・三条）分析
- ・地区委員会開催地の分析
- ・分区分別地区役員輩出数分析
- ・分区分別会員数分析
- ・過去輩出ガバナーの分区分別分析
- ・米山記念奨学生の世話クラブ分析
- ・候補場所の面積・賃料・駐車場の分析
- ・事務職員候補者の分析

これらの膨大な調査データは「地区事務所固定化等の作業部会WG資料」（約100ページ）としてまとめられ、報告書と共に田中ガバナーに提出されました。これらの資料及び報告書は個人情報に関するもの以外は地区内ロータリアンには開示を原則としておりますので、ご興味のある方はガバナー事務所へお申し出下さい。

### ④ 結論

以上のデータを詳細に分析した結果、作業部会全員一致で「新潟市」が現状においては優位であるとの結論に達しました。また、具体的な場所に関しては新潟・長岡・三条の予定される事務所候補地を調査したがそれぞれ甲乙つけがたいものがありましたが、新潟市の優位性と今後継続的に事務作業が行われることを考慮すると、現新保ガバナー事務所（ホテルオークラ1F）が適当であるとの結論に達しました。地区事務所の膨大な作業量とロータリークラブ独特の業務をこなせる経験豊富な事務職員候補者が新潟市に所在することも大きな要因となりました。新保年度で試行され、川瀬年度で実施に移されれば、タイミング的に新保ガバナー事務所が置かれているホテルオークラ1Fがロスもなく最適であるとの判断でした。

作業部会の報告を受け、田中ガバナーは地区運営改善検討委員会と地区諮問委員会に諮った上で、6月26日付で全クラブ会長宛に「地区事務所は新潟市に置く」との文書を発送しました。

## ⑤ 進捗状況（今後のスケジュール）

8月10日に地区運営改善検討委員会の開催が予定されております。その会合で今後の具体的な地区事務所設置へのスケジュールが検討されることとなります。作業の分掌、資金配分、職員採用等が検討されていくこととなりますが、時間がありませんので、走りながら考えるという事にならざるをえないと思います。地区事務所とガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所は一部重なり合う部分があり、多くの課題を解決していかななくてはなりません。いずれにしても、新保年度で試行し、川瀬年度で実施し、その過程の中で問題点を改善し、より最適な地区運営を数年かけて模索する王道を歩むべきであろうと思われまます。

## ⑥ 留意すべき点

地区事務所固定化に関しまして、留意すべき点が幾つかありますのでそれを述べてみます。

- 1、 地区事務所（継続事業の委員会事務作業、地区運営改善検討委員会や諮問会議の開催等）は固定化されますが、ガバナー事務所とガバナーエレクト事務所（四大大会開催事務作業、公式訪問、各クラブへの連絡等）は今まで通りガバナー輩出クラブの都市に置かれるという事です。すべてが新潟市に一本化され集約されるものではありません。このことを是非混同しないようにして下さい。
- 2、 2560地区は村上・中条から糸魚川・上越まで非常に距離があります。それが群馬とか富山とかとは全く異なる点です。その地域性をきちんと尊重し、地区運営が都市中心にならないように心掛けなければなりません。最新のIT技術を導入し、相互の連絡や意思疎通が十分にできるように、これから考えていかなければなりません。

## ⑦ 最後に

地区事務所固定化は2560地区の長年に亘る懸案事項でありましたが、各地域の色々な思いが複雑に交差し、なかなかその作業に取り掛かることが出来ないまま徒に時間が過ぎてきました。ガバナー事務所とガバナーエレクト事務所とが常に並行して走っている地区としての特質があり、引き継ぎは偶数年同士、奇数年同士で行われそれぞれのやり方が複雑に交錯し多くの問題が生じていました。地区ルールの原典（例えば地区財務規則）がどこにあるのか、継続委員会の専門的な知識をどう伝えていくのか、過去の委員会ファイルがどこにあるのか、什器備品はどうなっているのか、外注作業実務はどうなっているのか等々が分からず、それがガバナー輩出を困難にしている要因となっていました。

こうした不合理な実情を改善するための道筋が平成28年11月5日の会長会決議でした。この決議により、2560地区はようやく地区運営の改善に向けての大きな第一歩が踏み出されたのです。この決議を行うために大変なご苦勞をされてこられた鈴木重壺パストガバナーを始めとする、地区運営改善検討委員会の長年の苦勞に対して心から感謝し、敬意を表したいと思います。まだまだ、これから多くの問題点を解決していかなければなりません。新保年度・川瀬年度が協力して平成30年実施に向けまして頑張る所存です。会員各位の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後とも、ガバナー月信や公式訪問等を通じまして、情報開示を積極的に進めて行くつもりですので、よろしく願い申し上げます。

## 2017-18 年度 インターアクト年次大会報告

インターアクト委員会委員長  
長谷川 寿一 (新発田城南 RC)



今年度の国際ロータリー第 2560 地区 2017-2018 年度インターアクト年次大会は、緩やかな丘と山々に覆われた美しい胎内高原のもとで「地域と暮らす・守る」をテーマに開催されました。

大会に向けて、ホスト校である新発田商業高等学校のインターアクトクラブをはじめ、各学校関係者の皆様、そして自衛隊新潟地方協力本部新発田地域事務所様のご協力ご理解のもと総勢 180 名以上での開催となりましたことに心より感謝を申し上げます。

今大会では、11 のインターアクトクラブが 4 班に分かれて活動しました。

「地域と暮らす・守る」のテーマに基づいて一日目の分科会では陸上自衛隊新発田駐屯地に移動して『自衛隊の活動災害派遣活動』等をご講和していただきました。



国内では様々な災害が頻繁に起きていますが、実際に装甲車や輸送車、バイク等を目にし、また 20k から 30k もある装備リュックの点検・確認をはじめ、人命救助にも使用されるロープ訓練の体験を通して各班での協力体制や仲間と信頼し合う大切さを学びました。

このことはインターアクトクラブの目標のなかで「他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、実践すること。」そのものに繋がっていく体験だったと感じています。

それが二日目の分科会発表で、どの班からも自衛隊の普段の訓練や災害支援に対する活動を体験したことによって私達の生活を守ってくれていることを強く認識しました。

という報告になったのだと思います。



また、各校インターアクト報告会では交換留学生によるグローバルな体験談を聞いて一人でも多く留学を体験してもらい、これも目標のひとつである「国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として進むべき道を切り開くこと。の実践となってくれればと思っています。





青少年奉仕委員長の箕輪光泰氏より

「今大会の分科会で初めて自衛隊の訓練や活動内容をインターアクターに経験して貰い、自衛隊の役割・任務・災害支援等を理解できる良い機会でした。今後も支援していただけるようお願いしたい。」と講評をいただきました。

普段の生活が、常に守られて成り立っていることを認識できたことはあらためてテーマの意味である、地域での身近な人々と支え合い、助け合っていくことがいかに大切かという事を学んでもらいたい。という主旨に基づくことができ、大変有意義な内容で大会を終えることができました。

これも、大会運営に多大なるご尽力をいただきましたホスト校の新発田商業高等学校をはじめ、学校関係者の皆様、自衛隊新潟地方協力本部新発田地域事務所様、そして設営、準備にご協力いただきました実行委員会・新発田城南ロータリークラブの皆様にご心から感謝を申し上げまして大会の報告とさせていただきます。



## 「インターアクト年次大会に参加して」

新潟向陽高等学校  
インターアクトクラブ 草間 梨織



私は7月15～16日の間に年次大会に参加しました。今年の会場は、胎内パークホテル・胎内アウレツ館でした。私にとって

最後の、3回目の参加となりました。

初日は、新発田駐屯地で研修をしました。現地に着くと、自衛隊の方々が暑い中、私たちを出迎えてくださいました。

まず、最初に講話をお聞きしました。自衛隊の仕事の内容について説明してくださり、災害時には自助・共助・公助が必要で、まずは自分で何かできることをして支援を待つことが大切だと分かりました。自衛隊の方はいつでも出動できるように日々訓練をして、使命感をもって生活を送っているのだと感じました。



次に、白壁兵舎広報史料館で軍服やバッジなど昔の自衛隊が実際に使っていたものを見ることができて感激しました。

また、自衛隊の方が実際に背負っている20kgのリュックを背負ったり、被災地で使われる車に乗る体験もさせていただきました。

2日目は、前日の研修報告と交換留学生による発表がありました。留学生の方は、「大変で、不安もあるけど楽しかった」とみなさん笑顔で話しをしていました。

私は、3年間インターアクトクラブで活動できて本当によかったです。なかでも年次大会は他校のクラブ員と交流ができ、普段できないような体験ができて大好きな行事でした。

来年は、新潟向陽高校がホスト校です。私は、卒業しますが、ぜひ、思い出に残るような大会にしてください。応援しています。

## 「年次大会に参加して」

新潟県立新発田商業高等学校  
インターアクトクラブ副会長 鹿島 勇樹



今回の年次大会で私は、ホスト校としての参加でした。今までにやったことのないような大役を任されたので、とても緊張しました。

今年度の大会テーマは「地域と暮らす そして守る」ということで、地域での身近な人びとと支え合うことの大切さを学びました。分科会では、自衛隊の皆さんが協力してくださり、とても良い体験ができました。白壁兵舎の見学では新発田城の歴史や自衛隊の活動を詳しく知ることができました。私は、新発田に住んでいるのですが、知らないことが多くあったので驚きました。その後、駐屯地の敷地内でロープの結び方を教えていただきました。二本のロープを一本に結ぶ方法や水害などの災害時に使える結び方を教えてもらい、いつ自然災害が起こるかわからないので、ロープの結び方はいざという時に重要な知識だと思いました。また、自衛隊の方々が実際に使用している車両や装備品を見せていただき、20kgのリュックを背負わせてもらいました。

とても重く、自衛隊の方々の大変さを感じました。



この分科会を通して私は、地域の人との協力や自分の身は自分自身で守らなければならないと感じました。自助・共助・公助の連携で災害に備えることが大切だと思いました。

私たち三年生にとって今回が最後の年次大会でした。毎年、多くのことを学ばせていただき、貴重な体験をさせていただきました。学んだことをこれからの生活に活かしていきたいと思います。大変、ありがとうございました。



## 「地球環境保全のための植樹事業」

社会奉仕委員会委員長  
保莉 玲子（新潟東 RC）

7月8日土曜日に万代シルバーホテルで「地球環境保全のための植樹事業」の実施計画説明会を開催致しました。42クラブより44名の参加者があり、出席していただいた皆様には活動に一方ならぬご理解を賜り、心より御礼申し上げます。



計画概要、推進形態の説明とパワーポイントで植樹場所を一部写真紹介したあと、



にいがた緑の百年物語緑化推進委員会の常務理事より植樹活動の紹介をして頂きました。皆様のご協力により予定どおりで会を終えることができ少し安堵していますが、ようやくスタートラインについているところです。

事業推進形態としましては、別表（A）と（B）の2か所を「公益社団法人にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」に事業委託し、同委員会が主催または共催する植樹イベントに参加し植樹を行います。別表（C）と（D）

は実施団体と個別に契約を結び、実施日にその団体と一緒に会員が参加し植樹を行います。

さだまさしが歌う「木を植える男」の歌詞で、「私は木を植える、来るべき未来のために」とあります。各地で「これまで経験したことのないような・・・」の言葉で始まる災害報道が続くなか、先日、板倉区国川の地すべり跡地を見学してきました。そして実際の跡地を目の当たりにしたとき、私たちの植樹事業が、来るべき未来のために大切な次の世代のための奉仕活動として前向きな影響を与える機会にできたらと思います。



今後の「地球環境保全のための植樹事業」に、ますますご協力を賜りますようお願い致します。

### <別表>

### 実施計画予定表

	地域	市町村	場 所	事業・実施団体	時期	本数
A	下越	村上市	グリーンパーク あらかわ総合運動公園	岩船・村上緑化推進連絡会議	30年5月 第2土曜	300本
B	中越	十日町市	市民スキー場跡地	十日町市民共働の森づくり実行委員会	29年11月	500本
C	上越	上越市	板倉区国川	「絆の森づくり」 地すべり跡地復興委員会 平成24年3月に発生した 地すべり跡地復興を目的とした植樹事業	29年10月	300本
D	下越	新潟市	中央区青山海岸	「企業の森づくり活動」 新潟県地域振興局事業 青山海岸共有地の在来植物による緑化事業 (グリーン産業(株)が主体)	30年3~4月	1,000本

## 新入会員 紹介 (敬称略)

RC 名	お名前	入会日	会社名	職業分類
新発田	石橋 伸明	2017. 7. 3	(株)北越銀行新発田支店	地方銀行
新発田	齊藤 賢二	2017. 7. 3	社会保険労務士法人 篠田パートナーズ事務所	社会保険労務士
中条	内山 明	2017. 7. 19	株式会社内山大鍛冶屋	鋼材加工業
新潟万代	丸山 聡	2017. 7. 10	(株)ダイアテック	建設コンサルタント
新潟万代	清田 彰	2017. 7. 10	(株)宏和	包装資材等 企画・販売
三条北	梨本 文也	2017. 7. 4	株式会社タツミ	建築用金属製品製造
長岡	星 浩喜	2017. 7. 4	北越銀行本店	銀行
長岡	湯澤 伸也	2017. 7. 4	東北電力(株)	電力
長岡東	外山 敦之	2017. 7. 5	アドリテム司法書士法人	司法書士
長岡東	松本 和明	2017. 7. 26	長岡大学	私立大学教授
長岡西	矢野 秀樹	2017. 7. 6	(株)カンコー広告部	屋外広告
糸魚川	村上 弘	2017. 7. 1	明星セメント(株)糸魚川工場	セメント製造
糸魚川中央	齊藤 孝之	2017. 7. 1	糸魚川二幸(株)	総合ビル管理業
糸魚川中央	石橋 広憲	2017. 7. 1	(株)エフティーエフてらまち調剤薬局	調剤薬局
糸魚川中央	野々目 和信	2017. 7. 1	わかば内科クリニック	内科医

## 訃報

糸魚川 RC 木島 登 様

ご逝去日：2017年7月8日

(株)糸魚川青果卸売市場 会長

心よりご冥福をお祈りいたします。

## 8月地区の予定 【会員増強および拡大月間】

2017年8月	地区主要行事	会場
3 (木)	大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
5 (土)	防減災セミナー	長岡市震災アーカイブセンターきおくみらい
5 (土)	ロータリー財団地区資金監査/財団ミーティング	万代シルバーホテル
26 (土)	国際奉仕フォーラム/青少年交換学生 2017 夏期一年派遣学生報告会	ホテルオークラ新潟
27 (土)	第1回地区ロータリー財団セミナー/地区補助金オリエンテーション	ホテルオークラ新潟

2017年8月	ガバナー公式訪問	分区
1 (火)	三条北 RC	4
2 (水)	三条 RC	4
3 (木)	村上 RC	1
7 (月)	三条南 RC	4
8 (火)	長岡 RC	5

2017年8月	ガバナー公式訪問	分区
23 (水)	十日町北 RC	6
24 (木)	十日町 RC	6
28 (月)	津南 RC	6
31 (木)	見附 RC	4



第2560地区 2016-17年度 6月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	6月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		89.22	371	364	35	-7
新発田	4	94.86	97	93	0	-4
村上	4	82.89	36	37	9	1
水原	4	81.91	25	27	0	2
中条	4	92.65	35	34	3	-1
新発田城南	5	86.39	40	41	4	1
豊栄	4	100.00	27	26	3	-1
新発田中央	4	91.00	48	45	4	-3
中条胎内	4	89.40	33	33	6	0
村上岩船	4	83.90	30	28	6	-2
第2分区(9クラブ)		86.38	440	441	20	1
新潟	4	87.82	92	86	0	-6
新潟東	5	89.33	62	62	8	0
新潟南	4	84.29	97	99	2	2
佐渡	5	82.90	7	7	0	0
新潟西	5	81.14	37	41	1	4
佐渡南	4	88.13	42	41	4	-1
新潟北	3	79.85	42	43	0	1
新潟中央	4	90.00	25	24	0	-1
新潟万代	4	93.92	36	38	5	2
第3分区(6クラブ)		75.10	131	122	7	-9
新津	4	70.84	19	18	0	-1
村松	4	95.45	10	11	0	1
五泉	4	78.12	18	17	3	-1
白根	5	77.36	42	37	2	-5
新津中央	4	78.85	31	29	1	-2
阿賀野川ライン	4	50.00	11	10	1	-1
第4分区(11クラブ)		82.70	362	371	22	9
三条	4	86.87	55	59	0	4
燕	4	70.96	33	33	1	0
加茂	4	89.65	28	29	4	1
三条南	3	94.11	51	48	2	-3
分水	4	100.00	32	32	3	0
見附	4	74.00	20	20	1	0
吉田	5	76.36	32	33	2	1
三条北	4	82.95	65	66	3	1
巻	4	80.90	9	13	0	4
田上あじさい	4	71.40	6	7	1	1
三条東	4	82.50	31	31	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	6月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		85.34	313	319	22	6
長岡	3	86.28	40	44	1	4
柏崎	4	82.60	42	45	0	3
長岡東	3	89.25	69	66	4	-3
柏崎東	4	89.22	53	50	4	-3
栃尾	4	80.00	21	21	0	0
長岡西	5	88.06	52	57	5	5
柏崎中央	4	81.97	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)		86.18	156	155	11	-1
十日町	4	97.87	34	34	3	0
小千谷	5	85.92	40	39	5	-1
雪国魚沼	3	70.80	24	25	2	1
十日町北	4	92.86	23	23	0	0
津南	4	94.64	27	27	1	0
越後魚沼	4	75.00	8	7	0	-1
第7分区(8クラブ)		83.11	324	316	27	-8
高田	5	97.76	61	66	0	5
直江津	4	89.09	51	47	3	-4
新井	4	72.82	32	29	3	-3
糸魚川	5	62.92	42	41	3	-1
高田東	4	85.90	40	39	3	-1
糸魚川中央	5	80.61	36	31	0	-5
頸北	3	97.40	15	14	1	-1
越後春日山	5	78.40	47	49	14	2

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
6月末 会員数	2,088	人
女性会員数	144	人
純増減会員数	(9)	人
当月平均出席率	84.29	%





■ 各ゾーンにはロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA)の3人のコーディネーターと1人のアドバイザーが国際ロータリーから任命されています。私どもの役割は、研修者、コンサルタント、アドバイザーとして、ガバナーと地区チームの皆さまをサポートすることです。会員の入会と参加の促進、地域社会でのロータリーの推進、ロータリー財団の支援を通じて国際ロータリーの戦略計画を遂行するために、ガバナーの皆さまと地域リーダーがチームとなって協力することが重要となります。従いまして、地区セミナー、地区大会、PETS、地区研修・協議会などにおいて、それぞれの分野に関するプレゼンテーションを行うことのできる機会がありましたら、お手伝いをさせていただきます。コーディネーター、アドバイザーおよびコーディネーター補佐一同、今年度が皆さまにとって実り多い1年となることを願っております。



第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人 (RID2510:函館五稜郭RC)

RCの主な役目は「クラブのサポートと強化」で、特に会員増強に向けた支援であります。しかし、ご承知のようにゾーンの再編が行われ、日本は2.5ゾーンに縮小されることとなります。これを元に戻すためには約6千名の会員を純増しなければなりません。日本には2千強のロータリークラブがあります。5年間で各クラブが純増3名を達成できれば決して夢のような話ではないと思います。みんなで頑張りましょう。



第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木秀憲 (RID2570:吹上RC)

公共イメージと認知度の向上のために行うべき事は、①我々ロータリアンの活動について ②世間へ発信する内容について ③世間へ発信する方法について の三つに分けられると考えます。単に広報するのではなく、「世間の方々の良いイメージでロータリーについてご理解頂く」事が大切です。この観点から、今後上記①,②,③について、皆様と共に考えたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。



第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中正規 (RID2760:西尾RC)

昨年4月の規定審議会はロータリーの歴史上の転機と言われています。すなわちクラブの裁量が大きくなり、柔軟性が増しました。柔軟なクラブ運営(例会の形式の多様化、出席要件の緩和、異なる会員種類の提供、例会スケジュールの変更等)とクラブの強化が求められています。それには例会の充実、多くの会員のリーダーシップの発揮、ビジョンの作成、新会員の指導等があります。戦略計画に基づき、目標設定、行動計画の立案、実行が必要とされます。そのために、RIから多くのリソースが提供されています。私たちゾーンのロータリーコーディネーターも利用してください。



第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺治夫 (RID2780:横須賀RC)

国際ロータリー第2ゾーン「ロータリー公共イメージコーディネーター」という身に余る重責に身の引き締まる思いであります。RPICの任務に初めて取り組みますが、誠心誠意務めてまいりますので皆様のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。イアンH. S. ライズリーRI会長は、「ロータリーとは何ですか?」という問いに「自らの『行動』によって答えましょう」と述べました。そしてRIは「People of Action(世界を変える行動人)」公共イメージキャンペーンをはじめています。このキャンペーンに則り、行動を持って「公共イメージと認知度の向上」に取り組んで参りたいと存じます。



第3ゾーン ロータリーコーディネーター 若林紀男 (RID2660:大阪東RC)

愈々新年度が始まり、ガバナーの皆様には勇躍の思いを持って任務に就かれておられると存じます。RIの会長は年ごとに替わっても常に会員基盤の強化推進を提唱されます。日本に於いても「会員増強」は喫緊の課題であり、地区・クラブでは大きなウェイトをかけて取り組み続けておられます。本年度第3ゾーンのリーダーの方々と共に、地道にクラブ活性化→会員維持・会員増強の成果をあげる為、ARCによる地区別専任担当制を用いてご協力させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

関西地区担当 高島凱夫(D2660) 中国地区 伊藤 文利(D2690) 九州地区 穴井元昭(D2700)



第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄 (D2660:大阪中央RC)

昨年度一年目はRPICとして、どの様な活動が各クラブと各地区にメリットを齎すことができるのか暗中模索の状態からスタートいたしました。ゾーン内各地区の皆様と対話を重ねることによって、各クラブや地区のニーズが次第に汲み取れるようになりました。近年、ロータリーの公共イメージと認知度の向上活動、そしてRI・地区・クラブ運営のIT化が加速しております。新年度はギアアップを図り会員の皆様にも少しでもお役に立てますように努力いたします。引き続き皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



# ハイライトよねやま

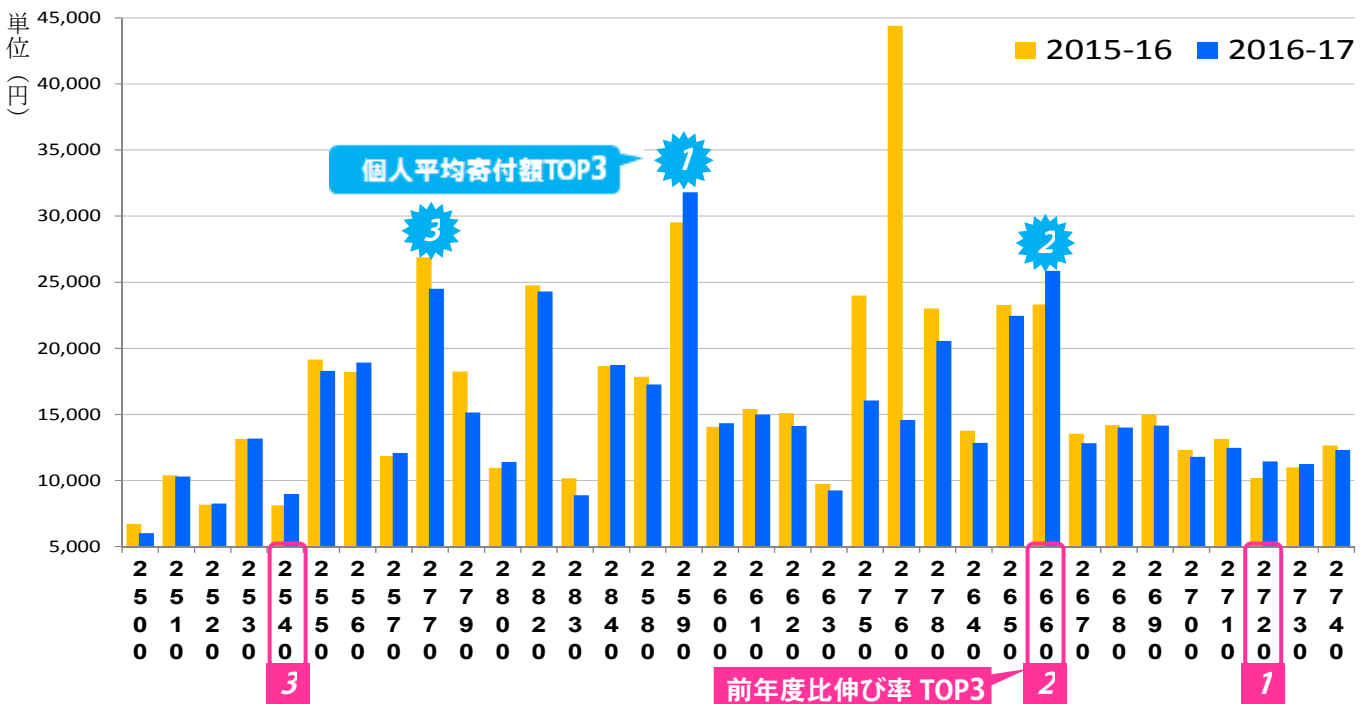
2017.7.12

Vol.208

## 2016-17 年度寄付金結果 — 予算達成しました —

2016-17年度の寄付金は約13億7,300万円でした。前年度と比べて13.0%減（普通寄付金0.8%増、特別寄付金18.0%減）、約2億円の減少となりました。前年度は大口寄付があり、減少幅が大きくなっていますが、予算額13億

3,000万円は無事達成することができました。会員皆さまのご尽力に深く感謝申し上げます。新年度も引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



### 個人平均寄付額 TOP 3

- ① 第2590地区：31,801円    ② 第2660地区：25,854円    ③ 第2770地区：24,498円

### 個人平均寄付額の前年度比伸び率 TOP 3

- ① 第2720地区：112.3%    ② 第2660地区：110.9%    ③ 第2540地区：110.7%

## 財団設立 50 周年記念誌を発売しました！

財団設立50周年を記念して、奨学会史『ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ』を6月末に刊行しました。

本誌は、当事業の歴史を25年ぶりに編纂したもので、米山梅吉氏の生涯と東京RCによる米山基金の設立、財団法人化とその後の組織拡大、奨学事業のさまざまな試行錯誤と変遷、単立った学友の活躍など、現在に至るまでに当会が歩んだ歴史を余すところなく記録しています。このほか、国内外の全学友会の紹介、50周年記念特別座談会、年表などを集録。これを読めば、

よねやまの歴史がすべてわかります！クラブに1冊、お手元に1冊、米山記念奨学事業への理解促進に、ぜひご活用ください。限定3,500部、1冊1,800円（送料込）で頒布します。

お申し込みは当会HP50周年特設ページまで。



## ネパール大地震義援金についてのご報告

ネパール大地震に際し、多くの皆さまから寄せられた義援金の最終送金を6月20日に完了しました。義援金総額14,042,247円は、3回に分けてネパール米山学友会口座へ送金しました(すべてUSD建て)。

第1回送金(2015年12月16日):5,000,000円

第2回送金(2016年6月23日):3,000,000円

第3回送金(2017年6月20日):6,042,247円

ネパール米山学友会ではいただいた義援金をもとに、2016年から地震の被災学生に奨学金を支給しています。昨年は厳正な選考を経て小学生～高校生まで25人の支援をスタートし、ネパールの教育制度で12年生の課程修了まで支援を約束しています。この支援計画は3,500万ルピーを基金としており、その利子収入で継続

支援することが可能です。今年度は引き続き23人を奨学生として支援するほか、この7月から被災地の村での新たな支援活動を計画しています。義援金の使途については、今後も続報が入り次第、随時報告してまいります。



学友会メンバーと2017年度奨学生

## 今年は浄水器を子どもたちへ — 上海米山学友会 —

上海米山学友会が今年も甘肅省臨洮県の小学校へ奉仕活動を実施しました。

標高2,600mにある苟家山小学校は、水が少ないうえ茶色く濁っており、児童や教員の健康を心配した学友会がお金を出し合い、今年も浄水設備2基を寄贈。7月3～4日にかけて、劉京榕会長以下学友有志7人と家族が遠路はるばる小学校を訪問し、学友や同行した家族も協力し



て算数や体育、音楽の授業を行ったほか、寄贈したボールで一緒に遊んだり、学友が手作りし

たナップサックをプレゼントしました。

上海米山学友会は昨年はパソコン、2年前には図書室を同校へ寄贈しています。教員から児童の学習態度が劇的に変化したとの報告を受けたほか、子どもたちから手書きのお礼の手紙を受け取り、感激もひとしおの訪問となりました。



## 50周年記念式典のご案内

ロータリー米山記念奨学会では、財団設立50周年を記念したフォーラムと祝賀会を来年2月4日に開催します。無事に財団法人として50年という節目を迎えたことを全国の皆さまと共に喜び、次の50年に向けて歩み始めるスタートにできれば幸いです。詳細は決定次第、当会ホームページに掲載し、次号の「ハイライトよねやま」でもお知らせいたします。皆さまのご登録をお待ちしています。

日時：2018年2月4日(日)

会場：グランドニッコー東京 台場

第1部 10:30～12:15(フォーラム)

第2部 12:30～14:30(祝賀会)

平成29年7月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会  
委員長 大塚信郎

拝啓

盛夏の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記10点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。

なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は[申込先]もご記載下さるようお願い致します。

## 文庫通信 (359号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会講演より

- ◎ 「Rotary—かえりみて、あすを考える」 久野 薫 2017 16p  
(D.2630地区大会)
  - ◎ 「ロータリアンの矜持」 藤川享胤 2017 8p  
(D.2590地区大会の記録)
  - ◎ 「2020年東京オリンピックのレガシーとロータリーの多様性」 水野正人  
2017 7p (D.2590地区大会の記録)
  - ◎ 「危機管理の人生」 安斎 隆 [2017] 12p  
(D.2530地区大会記念誌)
  - ◎ 「2030年、そのとき日本は」 国谷裕子 [2017] 2p  
(D.2640地区大会記録誌)
  - ◎ 「みどりの力で心の復旧・復興を」 涌井雅之 [2016] 11p  
(D.2530地区大会記念誌)
  - ◎ 「人はどうがんと向き合うか？」 垣添忠生 2017 4p  
(D.2710地区大会特集号)
  - ◎ 「青森県の短命県返上活動の現状」 中路重之 2015 7p  
(D.2830地区大会記録誌)
  - ◎ 「障害者アートで社会を変える」 播磨靖夫 [2016] 5p  
(D.2640地区大会記録誌)
  - ◎ 「フランス人から見た日本文化のあれこれ」 リシャール コラス 2017  
4p (D.2780地区大会報告書)
- [上記申込先：ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03) 3433-6456 ・ FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日